

移動体用スロットアンテナ

特 願 昭 37-1709
 出 願 日 昭 37・1・23
 発 明 者 佐藤利三郎
 仙台市中島町 50
 同 長浜良三
 横浜市戸塚区吉田町 292 株式会社日立製作所横浜工場内
 同 沼井重樹
 同 所
 出 願 人 株式会社日立製作所
 東京都千代田区丸の内 2 の 12
 代 表 者 駒井健一郎
 代 理 人 弁理士 佐藤直

図面の簡単な説明

図は本発明に係る移動体用スロットアンテナの一実施例の説明図である。

発明の詳細な説明

近時移動体、特に自動車などにテレビジョン受信機を搭載する要求が高まって来ているが、従来自動車の外観を害することなく利得が大きく、水平（または垂直）の偏波に適應してしかもその指向性を簡単に変化し得る

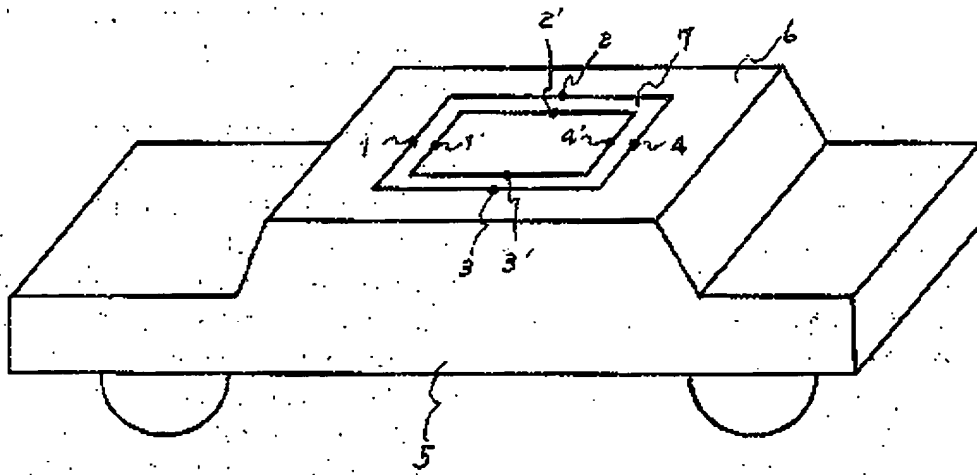
ときアンテナが提供されていない。本発明はこのような要求を満足せる移動体用スロットアンテナに係るものである。

本発明を一実施例について説明すると図面に示すようにたとえば自動車体 5 の導電体で作られた天井 6 に、幅をもつた枠型のスロット 7 を設け、スロット 7 により分けられた 2 つの導電体を素子とするアンテナとして使用するものである。またこのアンテナの饋電点を図面に示すように 4 つの点 1、1'、2、2'、3、3'、4、4' にとり、それぞれを切換え選択することにより水平偏波の電波に対して、水平方向 360° を 90°（直角）づつずれた指向性で覆うものである。

なお本発明は自動車とは限らず移動体であればよく、また天井に枠型スロットアンテナを設けることばかりでなく、移動体の側面あるいは他の面に枠型のスロットを形成してスロットアンテナにすることも可能なるものである。

特許請求の範囲

1 少なくとも 1 面が導電体で構成されている移動体において、該導電体に幅を持った枠型のスロットを設けて 2 分された導電体によりアンテナを形成し、該枠型の 4 辺の中心部を饋電点としてそれぞれの饋電点を切換え選択することにより指向性を 90° づつずれた方向に変化し得ることを特徴とする移動体用スロットアンテナ。



Best Available Copy